

2020年 迎春



桜川市議会 議長
にへい みのる
仁平 実

明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、様々な思いを胸に、新年をお迎えになられたことと存じます。
また、日頃より、私たちの議会活動に対しまして、ご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
さて、桜川市誕生から、今年の10月で、15年が経過しようとしており、その間、市執行部におきましても、本市の置かれている状況と向き合った中で、多方面にわたり、様々な事業が行われているところでございます。
しかしながら、桜川市に限らずこの自治体でも避けて通れない問題の一つであります、人口減少をはじめとした、多くの課題を抱えていることも事実であります。
このような状況の中で、桜

川市の未来を見据え、本市に見合った施策が今後も展開されるよう、議決機関としての役割に責任をもち、さらに、市執行部と知恵を出し合い、協力すべきところは一丸となって協力していきながら、議員、そして議会の使命を果たして参りたいと、決意を新たにしているところでございますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、市民の皆様、お一人おひとりが、充実した日々を送る中で、多くの幸せを感じられる一年となりますことと、令和の時代となった今、そして将来が、桜川市にとって素晴らしい時代となることを心からご祈念申し上げます、新年にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。



桜川市長
おおつか ひでまさ
大塚 秀喜

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい令和2年の新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、平成から令和へと大きな時代の節目を迎えました。本市では、友好交流都市のバコル市（フィリピン共和国）とのICT技術を活用した英会話交流事業を岩瀬小学校、桃山学園に続き、6月に雨引小学校が開通しました。また、10月に開催した国民体育大会ライフル射撃競技会では、7,749人も多くの皆様にご参加をいただきました。
本年は「ヤマザクラ55万本の里さくらがわ」をキャッチフレーズとして、地域資源を活用したまちづくりを推進してまいります。また、IC

T技術を活用した英会話交流事業の市内各小学校での開通や、公共交通網の整備として市内巡回ワゴンの運行、上管トンネル（仮称）本体工事の着手、および東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして事前キャンプなどを行ってまいります。
本市を取り巻く環境は、人口の減少、少子化の進展、職場産業の低迷などにより、厳しい状況ではございますが、効率的な市政運営を図りながら「元氣なまち桜川」の実現を目指してまいります。
結びに、市民の皆様には、昨年同様、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

CONTENTS

- 02 新年のごあいさつ
- 04 叙勲受章／寄付寄贈
- 06 行政情報／青少年の主張大会
- 07 まちの話題
- 08 市内巡回ワゴン運行開始
- 09 歴史資料館だより No.80
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 真壁高校グローバルGAP認証取得／年長さんご紹介

表紙

笑顔の共演、親子ふれあい料理教室



12月6日、南飯田小学校家庭科室で、茨城県高圧ガス保安協会笠間支部主催による「親子ふれあい料理教室」が行われました。

参加した6年生37人とその保護者は、同支部から寄贈された最新Siセンサーコンロを使用し、正しい利用方法を学びつつ、和やかな雰囲気の中、手打ちうどんとけんちん汁の調理に挑戦しました。

桜川市の人口と世帯

【人口】	39,607人	(- 63)
【男】	19,600人	(- 27)
【女】	20,007人	(- 36)
【世帯】	13,714世帯	(+ 1)

()は対前月増減
常住人口
令和元年12月1日現在